

# 二松学舎大学人文学会

## 第132回大会

■日時 2026年7月11日(土) 13:00～(開場12:30)

参加費無料

■開催方式 対面(講演のみオンライン兼用[YouTube])

事前登録不要

■会場 二松学舎大学 九段キャンパス1号館

■パネル展示(谷島貫太ゼミナール)

「神保町をウィキペディアする——大学ゼミでのウィキペディアタウンの実践」

■研究発表・会場1(201教室 13:10～15:25)

石田桜子「『蜻蛉日記』における「みみらくの島」再検討」(本学大学院文学研究科博士前期課程)

佐藤果音「二〇〇〇年代以降の文学に見られる「きょうだい児」の表象についての研究」  
(本学大学院文学研究科博士前期課程)

原田珠希「動詞「かける」の多義をめぐって——連語の構造的なタイプをてがかりに」  
(本学大学院文学研究科博士前期課程)

田崎 舜「『古事記』受容史における『鼈頭古事記』——「読み」の転換として」  
(本学大学院文学研究科博士前期課程)

■研究発表・会場2(202教室 13:10～14:40)

有永真瑞「『管子』旧注の体裁と現存状況について」(本学非常勤講師)

張 磊「『三国志演義』における『三国志平話』の利用——孫堅・孫策の物語を例に」  
(本学大学院文学研究科博士後期課程)

岡野康幸「清水赤城の儒学及び兵学観——大橋訥菴理解のために」  
(群馬医療福祉大学社会福祉学部専任講師)

■パネル発表(201教室 15:25～15:35)

谷島貫太ゼミナール「神保町をウィキペディアする——大学ゼミでのウィキペディアタウンの実践」

■講演(201教室 15:50～17:20)

田中 聡「大学と地域の連携による京都地域史料の研究」  
(立命館大学教授)

■総会 17:30

■懇親会 18:10～

【お問い合わせ先】

二松学舎大学人文学会事務局

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

二松学舎大学国文学共同研究室内 二松学舎大学人文学会事務局

TEL 03-5962-3304/FAX 03-3261-1386

E-mail jinbun@nishogakusha-u.ac.jp

□東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分  
□JR中央線(総武線)、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線「飯田橋」駅下車、徒歩10分  
□JR中央線(総武線)、東京メトロ有楽町線・南北線、都営新宿線「市ヶ谷」駅下車、徒歩10分  
※会場には駐車場がございません。お車でのご来場はご遠慮ください。

詳細は下記QRコードの遷移先より「二松学舎大学人文学会第132回大会開催のご案内」をご覧ください。

